

授業概要

幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領における基本概念を踏まえたうえで、領域「言葉」のねらい及び内容、指導上の留意点を理解するよう指導する。人的環境である保育者の役割と、評価の考え方、小学校教科とのつながりについて学びながら、言葉の発達と学習過程についての理解を深め、保育実践の場で活用できる保育構想と指導に関する基礎的な力をつける。言葉の発達を促すためにどのように援助していけばよいか、言葉を取り巻く問題を具体的にとらえられるように視聴覚教材やできるだけ新しい資料、知見を取り入れながら授業を進める。

授業計画

第 1 回	幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領の内容と領域「言葉」
第 2 回	領域「言葉」の歴史の変遷
第 3 回	領域「言葉」の「ねらい（1）」の内容、内容の取扱い、指導上の留意点
第 4 回	領域「言葉」の「ねらい（2）」の内容、内容の取扱い、指導上の留意点
第 5 回	領域「言葉」の「ねらい（3）」の内容、内容の取扱い、指導上の留意点
第 6 回	絵本や物語などに親しみ、興味をもって聞き、想像する楽しさを味わうこと
第 7 回	日常生活の中で、文字などで伝える楽しさを味わうこと
第 8 回	乳児期の言葉の発達と保育実践
第 9 回	幼児期の言葉の発達と保育実践
第 10 回	小学校の学習と 5 領域・領域「言葉」
第 11 回	幼児教育。保育の現場と 5 領域・領域「言葉」
第 12 回	言葉を育てる環境 1 保育者の役割
第 13 回	言葉を育てる環境 2 児童文化財（絵本・紙芝居等）の役割（情報機器及び教材の活用を含む）
第 14 回	言葉を育てる環境 3 指導案の作成
第 15 回	言葉を育てる環境 4 模擬保育
第 16 回	筆記試験

到達目標

- 1 幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型こども園教育・保育要領に基づく領域「言葉」のねらい及び内容、指導上の留意点の理解
- 2 保育者の役割、評価の考え方、小学校教科等とのつながりの理解
- 3 言葉の発達特性を踏まえた保育構想と幼児教育・保育実践のあり方の理解と実践力の育成
- 4 絵本・紙芝居等の児童文化財の活用についての理解と実践力の育成

履修上の注意

理解を深めるために演習形式を用いながら授業を進めるので、能動的な姿勢で臨んでほしい。

予習・復習

予習・復習のためのレポートを課す場合がある。

評価方法

学期末試験 70%、授業中に課す簡単な課題への回答 10%、レポート 10%、受講態度 10%

テキスト

「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」
その他、必要に応じて適宜参考書を指示し、また資料を配布する。